

人口と世帯

55.7.1現
(前月比)

男 5,818人 (+1)

女 6,157人 (+4)

計11,975人 (+5)

世帯数2,808(±0)

広報くにもみ

発行/国見町役場

編集/企画課

福島県伊達郡国見町

大字藤田字一丁目二

2/1 ☎969-17

電話藤田(024585)2111(代)

昭和55年7月15日

No. 85



▲ 分 列 行 進

町消防団の点検

6月29日、町消防団の定期点検が行われました。

消防団は、火災やその他の災害から町民を守るために日頃から精励しており、点検はその成果を発表する式です。

この日参加した200名あまりの団員は堂々と行進、きびきびした動作で日頃の訓練を披露し、火の守りの誓いを新たにしました。

(6頁を参照)

おもな内容

- 夏休みを楽しく過ごそう……2～3
- 夏の省エネルギー……4
- あの人この人……4～5
(奥山愛子さん)
- 町消防団の点検……6
- 国勢調査のはなし……7
- ワイドおしらせ……8～9
- 公民館だより……10

'80

7月

無理のないプランで 自主的に

——事故には 細心の注意を——

さあ、楽しい夏休み



森江野幼稚園のよい子たち

自分の力にかなう 「目標」を立てよう

さあ、楽しい夏休み。
子供たちは、規律正しい学校生活から離れて、家庭中心の毎日を送ることになります。ふだんの生活では味わえない、夏休みならではの貴重な体験をすることができ、過ごし方次第では有意義な長期休暇となるでしょう。

半面、その日その日をただなんとなく過ごすという無計画な姿勢では、あり余る時間をもて余し、精神的にもだらけ、一学期によい影響を与えない場合が多いようです。家族の一員として、規則正しい節度ある生活習慣を身につけさせましょう。

そのためにも、夏休み中の生活プランを立てることが大切です。生活設計は、一方的に親が決めるのではなく、といって子供一人に考えさせるのではなく、子供の自主性を尊重しながら話し合いで作りに上げるのがよいでしょう。子供が自主的な態度で規則正しい生活

を送るには、親の協力が必要だからです。

さて、その生活プランに、夏休みでなければやれそうない「目標」を一つか二つ加えてみるのもよいでしょう。「百メートルは泳げるようになりたい」「朝顔の観察記録をまとめた」と、子どもの願いが実現するよう、お母さんは側面から援助してあげてください。

子供が、自分の力にかなう目標を見だし、挑戦し、自主的にやりぬく過程で、強い意志なり物事を全うする心なりが養われるのです。夏休みならではのチャンスといえましょう。

交通安全のルールを 忘れずに

夏休みは、学校を中心とした規則的な生活から解放されるためにせつかく身についた交通安全のルールも、とかく忘れがちになります。例年、夏休み中に交通事故にあう子供がふえる傾向にあるのもそのためです。

夏休みを楽しく安全に過ごし、元気に二学期を迎えることができれば、交通事故にはとくに気を付けましょう。

プールが立派に完成

——森江野小

五月から、約二千七百万円をかけて工事が進められていた森江野小学校（畑切光孝校長、児童百九十五人）のプールが完成、七月十六日にプール開きが行われました。同小学校には、三十六年につく

られたプールがありました。地盤沈下や、五十三年の宮城県沖地震などによるひび割れで漏水がひどく、さらに、循環装置がなくて水質検査で不適合、更衣室や便所がないなどの不便を強いられました。

新しいプールは、校舎の南側に一まわり大きく立派にお目見え、まもなく子ども達の歓声がひびきわたることでしょう。



最後の仕上げ（7月4日撮影）

低年齢化が進む非行

子ども達が、心身ともに健康でたくましく育ってほしいと思うのは、すべての親の願いです。ところが、こうした親の気持ちとは裏腹に、年々少年非行が増え

子ども達にとつて学校生活の中で最も楽しい夏休みがきました。今年度は、七月二十一日から八月二十日までです。省エネルギー対策の一環としていつも年より五日間短縮されますが、この五日間は冬休みにまわされることになり

夏休みの意義は、子ども達を夏の酷暑から守るため、今まで学校の計画に従って行われていた勉強を、自分の計画で、努力しなればならないと思う勉強を存分に

各学校とも休みに入る前に無理のない計画を各自立案させ、担任は、相談のついでいろいろと助言を与えてやります。

続けています。

昭和五十四年の、成人も含めた全刑法犯二十六万八千人のうち、その約四割に相当する十四万三千人が、十四歳以上二十歳未満の少

ほとんどの子どもは目的を果たしますが、なかには誘惑に負けて途中で挫折してしまう子どもも出ます。夏休みは、いろいろな意味で学校では学び取れない良さがいっぱいあるのですが、反面、開放感からの自由が非行への芽ばえに

非行防止は町ぐるみの指導の中で

県北中学校長 平田義教

特に中学生の場合、夏休み中に非

行集団のできる確率が最も多いといわれています。

数人のグループが大声を出して叫んだり、はでな服装で人目を引こうとしたり、交通ルールを無視して得意になったり、交通事故さえ起こしかねないようなこれらの状態から非行化が進んでいきます。私達は、このような行為に対して

年という憂うべき状態となつていきます。これは、少年千人に対し、十四・五人が捕縛された勘定になり、戦後最高の記録です。

一方、数の面ばかりでなく内容においても、ごく普通の家庭の少年による非行が増え、低年齢化に一層拍車がかかることも、年少少年による殺人事件の多発、暴走

常に厳しく指導していかねればなりません。夏休み中、PTAなどとともに校外補導をいたしますが、町の皆さん方もよろしく御協力をお願いします。

全国的に少年の非行は年々増加し、大きな社会問題になっておりますが、今のところ県北中生には集団としての非行行為で補導を受

族少年による粗暴事犯の増加のほか、中学・高校生による校内暴力事犯が増加するなど、新たな問題をはらんでいます。

夏休みは、子ども達の生活のリズムが乱れ、気持ちゆるみがちで親の目も届きにくくなります。楽しい夏休みが、一転、非行の季節にならないよう気をつけましょう。

指導があったこと、文具店や各種の店で、商売にもかかわらず、たぐさ買ひ込んだり無駄使いをしていた生徒に対し、お金の価値を話して下さったこと、雨の日のとき、濡れながら歩いている生徒に声をかけタオルでふいてくれ、雨やどりをさせてくれたこと、自転車事故で帰れなくて困っている生徒にわざわざトラックを出してきてくれたことなど数多くの話がありました。

この年頃は、単に厳しく指導し取りしまつてもなかなか難しく、全体的な町ぐるみのあたたかな指導の中にこそ非行を消していけるものと思います。しかし、町内では非行に走らないが、他に出かけて行くという例もあります。一町に限らず全体的な視野に立って指導を進めていき、非行問題に対処していくべきものでありましよう。

少年に関する悩みは



少年の非行を防止するうえで最も大切なのは、早期発見、早期治療です。

もし、家庭内で解決できない問題がある場合には、福島県警察のヤング・テレフォンコーナー(☎〇二四五(二二)四一四)か、警察署にお気軽に相談ください。

また、地域のみなさんの相談役として、次の方々が少年補導協力員として非行防止活動を行っております。少年に関する悩みごと、困りごと、要望などをご相談してください。(敬称略)

- ▽嶋田安藏(内容字西四六、☎3688)
- ▽岡崎長平(藤田字中沢二一三、☎2245)
- ▽佐藤正巳(員田字町裏一〇、☎2256)
- ▽玉手繁雄(西大枝字竹ノ内二、☎有線30771)
- ▽東海林幸郎(藤田字北七三、☎2745)
- ▽奥山一夫(藤田字親月台、☎2007)
- ▽村上邦男(徳江字西四九、☎4079)
- ▽菊地昭平(石母田字上原六一、☎4459)

夏の省エネルギー

家庭の対策

いま、国をあげて七%の石油消費節約を進めていることは、みなさんよくご存知の通りです。
猛暑の夏は、クーラーの使用が増えるなど、電気をはじめとするエネルギーの消費が増大します。
ご家庭におかれては、ことしの夏は次のような工夫をされて、省エネルギーにご協力いただようお願いいたします。

1 冷房温度は28度に調節を

クーラーを使う場合は、こまめに調節を行い、冷房温度をおおむね二十八度に保ちましょう。冷房温度を一度上げれば、燃料費は約一割節約できます。

2 日よけ、カーテンの上手な利用を

忙しいことでは例外ではないが、家族の惜しみない協力が必要となつていゝ。メンバーは現在二十六名。当初からのメンバーは奥山さんを含めて七名。嫁いんだり、ご主人の転勤あるいは自然にやめていく人などで次第に入れ替わつていく。練習は月



(35)

3 冷蔵庫の上手な使用を
冷房中も、よしずやすだれ、カーテンを上手に使えば、直射日光の進入を防ぐことができ、冷房効果もあがります。

6 洗たくは、勝手に工夫を
・洗たくは、適当な量の洗たく物をまとめて洗うのが、上手なやり方です。また、すすぎ洗いの前に脱水すれば、すすぎ時間が短くてすみ、水と電気の節約になります。



4 お風呂は、沸かし方に工夫を
お風呂の水は、適量を午前中にくんでおいたり、太陽の熱を利用して暖めておいてから沸かしましょう。また、家族がそろつてはいるる時間に沸かして次々にはいると、追いだきをしなくて済みます。

7 電灯は、つけっぱなしにしないよう注意
必要なときだけ、必要なところを照明するのが上手なありのり方です。不要なあたりはこまめに消しましょう。

町のおかあさん合唱団「国見フラウエン」では、さる六月八日、創立十周年を記念して「さくらんぼコンサート」を開催した。そこで今月は、その会長である奥山愛子さん（藤田字親月台一）にご登場願ひ、お話を伺つた。

「コンサートは、今までお世話になつた方々への感謝と、少しでも歌う楽しさを知ってもらえればと思ひ、計画しました。さくらんぼとしたのは、ちょうどさくらんぼの時期ですし、小さな、ささやかなコンサートということでは……」
今回は、みんなで歌いましょうを主体にして、会場の人達と大合唱。「みなさんに喜んでもらえてうれしいです。これもみなさまのご支援のおかげ」。もちろん板垣先生あつてのことですが。（板垣先生はもと奥山北中に在職され、当初から国見フラウエンの指導にあつていゝ）

国見フラウエンは昭和四十六年四月、奥山さんら三人が発起人となつて、公民館コーラス教室として産声をあげた。翌四十七年に独立、今では数多くのレパートリーを持つ、町では唯一のクラシック音楽団体として活動を続けていゝ。悩みは「メンバーが少ないこと」。練習量が足りないこと。団員のほとんどは家庭の主婦で、その上勤めや店を持つていゝ。当然、練習は限られてくる。奥山さんも家業（醬油店）を持つ一家の主婦で、

10周年を迎えた「国見フラウエン」の会長

奥山愛子さん

5 テレビはつけっぱなしにしないよう注意
テレビをみないときは、こまめに消しましょう。特に、つけっぱなしで時計がわりにするのは電気の大きなムダ使いになります。



また、けい光灯は、白熱灯に比べて四〇%近い電力で同じあかりが得られます。寿命も長く、けい光灯はお得です。



二回、定期的に行っているが、コンサートや合唱祭があるとうしろでも足りないという。「忙しい先生と数少ない団員との時間のかねあいむずかしくて…」と苦勞は尽きない。

四十八年に福島県合唱連盟に加入。以来、県合唱祭、県北地方合唱祭に出場、町の芸術祭、成人式などではなくてはならない存在となっている。「練習量からいって

も高度な技術は追えないので、私たちは音楽本来の姿——明るく楽しいのびやかに歌っていききたい。それが、板垣先生を囲む私たち合唱団のふんいきであり、特徴でもあります。県の合唱祭ではいつも「一つの明るい素直なふんいきを持つている合唱団」との評を受け、「今年はどうな歌を聞かせるか、か楽しみ」という声を聞かれるとか。

奥山さんは学生時代（福島女子高）コーラス部で活躍、現FMCの前身である学生連合合唱団の一員でもあった。「合唱は一人の声で飛び出したはダメ。他のパートの声に耳を傾けながら自分の声を合わせる。みんなピッタリ合った時の気分——あきょうはうまくハモったなどと思った時は最高！」そして「おこがましいようですが、これからの活動を続けていく中で、ハーマニーの楽しさをわかってもらいたい、気楽に歌に親しんでもらえるよう努めていきたい」と抱負を語ってくれた。

町の文化団体連絡協議会の副会長や公民館運営審議会委員の役職にもある奥山さん、明るくおやかで、人柄の良さが伝わってくる。フラウエンの名のように、花のお母さんコーラスとして、町中に輪が広がってほしいと願う。家族は夫、両親。一男一女の母。

歳時記

土用



「土用」というと、まず連想するのは、夏の暑さ。そして、丑(うし)の日の日のうなぎ。

ところが実際には、「土用」は春夏秋冬にそれぞれ一回、年に四回あります。春の土用は立夏の前の十八日間、以下同じように夏は立秋、秋は立冬の、冬は立春の前十八日間となり、その初めの日を「土用の入り」といいます。

それが、いつの間にか、夏の土用ばかり知られるようになり、衣類を虫干しする土用干しとか、土用波とかいうのも、すべて夏の土用のことになってしまいました。

今年の夏の丑の日は、七月二十七日の日曜日です。この日に、夏やせ防止にと、うなぎのかば焼きを食べる習慣があるのは、ご存じの通りです。

一般に土用に入るとうなぎの売れゆきはウナギ上りになり、ピークはもろゝ、ん丑の日。うなぎ屋さんは、夜の明けぬうちからかば焼きをつくる作業に追われるという事です。

土用の丑の日は、年によって一度だったり二度だったりするのは、土用が十八日間あり、それに十二支を割りふるので、二回の場合もでてくるからです。

土用の丑の日には、うなぎばかりでなく、地方によっては、「う」のつくもの、たとえば、うめぼし、うどん、うし肉、うりなどを食べると暑気あたりを防げるといわれているようです。

いずれにしても、この時期はもつとも暑さがこたえるときですから、スタミナのつく食事を十分にとって夏を乗り切る体力をつけましょう。

火の守りを誓って

町消防団の点検

町消防団（樋口弥太郎団長、団員三百四名）の五十五年度定期点検が、六月十九日午前九時から二百名あまりが参加し、藤田小学校グラウンドで行われました。

当日は、心配された雨もなく、まず、全団員が藤田商店街に整列して点検者（町長）による車上観閲式に始まりました。

グラウンドでは、通常点検、規律訓練、ポンプ操作、分列行進などがきびきびした動作で披露され、



第一分団によるポンプ操作



観閲後のパレード



功労章を伝達される樋口団長

来賓などから拍手が送られていました。

次に佐藤町長の講評、樋口団長の訓辞が行われたあと表彰式に移り、樋口団長の消防庁長官表彰の伝達や一般表彰が行われました。

- ・永年勤続功労章 副団長 林 元治
- ・功労章 団長 樋口弥太郎
- ・功労章 (消防庁長官表彰) (伝達) 功労章
- ・永年勤続功労章 副団長 林 元治
- ・永年勤続功労章 第三分団長 蓬田 正敏

(一) 一般表彰

- ▽防火水槽用土地提供者
- ▽石川暢男（森山字壇の前一二）
- ▽矢野武雄（森山字沖一二）
- ▽佐藤精一（小坂字小坂四五）
- ▽黒田武夫（泉田字北ノ内一）

(町消防団長表彰)

- ▽渡辺茂男（一分団）
- ▽阿部栄一（同）
- ▽野村文男（同）
- ▽鈴木文治（同）
- ▽野村春吉（同）
- ▽赤坂弘（同）
- ▽吉田義正（二分団）
- ▽鈴木貞雄（同）
- ▽羽根俊一（同）
- ▽吉田勉（同）
- ▽穴戸惣兵衛（三分団）
- ▽吉田洋一（同）
- ▽徳江正義（同）
- ▽八巻良一（同）
- ▽佐久間 衛（同）
- ▽菊地善昭（同）
- ▽高橋一吉（五分団）
- ▽星野強（同）
- ▽佐藤幸一（同）

町税のあれこれ

(4)

町民税 (下)

先月に引き続き町民税についてお知らせします。

(納税の方法)

個人町民税の納税は、普通徴収と特別徴収の二通りあります。

普通徴収

農業や事業などを行っている人は、毎年三月十五日までに町民税の申告書を町長に提出しなくてはなりません。役場ではこの申告書に基づいて税額を計算し、納税者に通知し、六月、八月、十月、十二月の四回に分けて納めていただきます。

特別徴収

給与所得者の町民税は、特別徴収税額通知書により町から給与支払者を通じて通知され、給与支払者が毎月の給与から差引いて翌月十日までに町に納入することになっています。給与の支払者を特別徴収義務者といえます。

△分離課税の特例

- 1 土地、建物などの譲渡所得
- イ 長期譲渡所得（昭和44年1月1日前に取得の土地、建物）
- ・二千万円以下の場合四%
- ・二千万円を超える場合、その

総合課税
なお、この特例は五十六年度より次のように改正されます。

- ・四千万円以下が四%
- ・八千万円以上は総合課税

口短期譲渡所得（昭和44年1月1日以後に取得した土地建物）
課税短期譲渡所得金額

2 退職所得の特例
退職手当の支払者は、退職手当などを支払う際に退職所得に対する税額を計算し、支払額から税額を差引いて町に納入することになっています。

◎法人町民税

町内に事務所、事業所を設けている法人は、均等割と法人税額割を納めることになっています。

1 均等割は法人の所得にかかわらず一定の税額を負担するもので、資本金、出資金額により八千円から八十万円まで五段階に分かれています。

2 法人税額は所得の多少により負担するもので、税率は法人税額の一・一%です。

3 納税の方法は、法人自ら均等割額と法人税額割を計算し、所要事項を記載した申告書を提出する際に、併せて税額を納付することになります。

○人口と世帯数

前回の昭和五十一年の調査では当町の人口は一万九百二十八人でこれは日本の総人口一億千九百九十四万人の約一万分の一に当りまし

○老年人口比率

我が国では出生率の低下と死亡率の改善により人口の老齢化が進んでいますが、総人口に対する六十五歳以上の人口の割合を表わす老年人口比率は当町の場合も表のよう

国勢調査のはなし

町の人口は十年ぶりに一万二千人に回復するか?

れ、ヨーロッパで百年かかったものか二十五年で同じ経過をたどろうとしているといわれています。このため高齢化社会に対応する社会制度確立が急務であり諸施策立案等の基礎資料を提供する国勢調査の意義に重要なものがありま

○昼間人口

国勢調査で調べる人口はふだん住んでいる所の「常住人口」ですが、国勢調査の調査項目に従業地や通字地があるのでこれによつて

○人口と世帯数

年次	世帯数	人口	一世帯あたりの人口	老年人口比率	昼間人口
昭30	2,414	14,143	5.9	5.9%	—
35	2,471	13,111	5.3	7.3	—
40	2,546	12,672	5.0	8.3	11,012
45	2,630	12,093	4.6	9.9	10,365
50	2,727	11,928	4.4	11.6	10,266

②

町外の通勤者が増加しており就業者の四分の一が町外で就業しています。また一方では町内事業所の増加等により町外からの就業者も増加の傾向がみられます。

環境改善事業のモデル地区に

大木戸・高城部落



福島県生活環境改善事業の実施地区の一つとしてわが町の大木戸と高城部落が指定を受け、住みよい町づくりに地域住民が一体となつて取り組むことになりました。これは、農村地域の生活の近代化と生産を高めるために、三年が

かりで生活環境を見直そうというところで、個人では何が出来るか、地域としては何が出来るか、町や県の援助が必要なものは何かというように分けて明らかにしようというものです。

まず、全家庭にアンケート調査を依頼、地域生活環境の診断を行い、問題点を浮き彫りにします。その結果によつて、河川、道路、ごみ問題などの環境整備や施設の整備を行つて行く予定です。ただこれらは、地域住民たちの積極的な参加意識と連帯を必要とします。大木戸と高城部落のみならず、みんなで力を合わせて、少しでも住みよくなるよう努力していきますよう。



事業の一つとして、地区民によって道路など10カ所にマリーゴールドとサルビアが植えられた

ワイドおしらせ

- ◇清水製作所前
午後4時～4時30分
- ◇園見精機前
午後3時～4時
- ◇園見電子前
午後1時～3時
- ◇園見町役場前
午前10時30分～12時
- ◇園見町農協前
午前9時30分～10時

三歳児検診

次の日程で三歳児検診を行います。この時期は、精神、身体、行動のすべての面において、独立期にあたります。言葉、視聴覚、その他諸機

月 日	対 象 者
7月22日 (火)	昭和51年9月～12月生まれ
23日 (水)	◇ 52年1月～2月生まれ
29日 (火)	◇ 52年3月～5月生まれ
30日 (水)	◇ 52年6月～8月生まれ

「国保の健康だよ」

福島テレビで放送中
毎週金曜日
午前6時50～55分
午前11時40～45分

- 7月25日 氷のう、水枕の効用
- 8月1日 腰痛の原因
- 8日 椎間板ヘルニアの原因と治療
- 15日 ギックリ腰の原因と治療

健康相談日のお知らせ

◎毎月第二、第四金曜日の午後、健康相談日
※お気軽にご利用下さい。
(担当 保健婦)

と き 7月25日 (金)
8月8日 (金)
午後1時30分～
午後3時30分
ところ 役場二階保健室

いよいよ夏本番。夏バテのシーズンがやって来しました。太陽キラキラ、蒸し風呂のような日本の夏。夏バテ、夏やせ、夏負け——いずれも暑さが原因でおくる全身疾患です。
なんとなくだるい、食欲がない、眠くてしょうがないしやせてきた——こんな症状が出てきたら夏バ

てらしいですね。頭痛、発熱、下痢、不眠などの症状があればりっぱな夏バテです。暑さのために自律神経の働きがうまくいかないの起きてくるようです。
さて、夏バテ予防の一原則は、1よく食べ、2よく眠ることです。消化がよく、たん白質、ビタミンなどの栄養のバランスがとれた食品を少しずつ食べるようにしましょう。規律正しい生活を心がけ、からだをゆつくり休める心がけが大切です。(保健課)

献血バスが来町

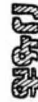
ご協力をお願いします

(7月28日)

七月二十八日に献血バスが来町します。町民のみならず、お近くの会場でもぜひ献血にご協力ください。

献血してくださる方には次の特典があります。
○献血者、親族が輸血を必要とする場合は保存血液を優先的に必要量供給します。(供給を受けた血液に対しては返礼する必要はありません)
○献血された血液については厳重な血液検査(血液型、梅毒、肝機能)を行います。もしその血液に異常反応が認められると、本人に血液健康診断書をお送りいたします。したがって病気が早期発見される場合もしばしばあります。

能の発育状態を正しくつかみ、適切な家庭教育のために期間内に必ず受けてください。
会場 町民体育館
時間 午後一時三十分から二時まで受付



- 7月 文月 (ふみつき)
 - 20日・海の記念日
 - 21日・勤労青少年の日
 - 23日・大暑
 - 27日・土用の丑の日
- 8月 葉月 (はづき)
 - 1日・水の日
 - 7日・立秋・鼻の日・食品衛生週間始まる

扇風機は首ふりで省エネルギー時代を迎えて、この夏は冷房カットの家庭もふえることでしょうか。その代替としては、扇風機が大きき顔をすることでしょうか。でもこれも上手に使わないと、冷房を長く続けるのと同じように身体に毒になります。
扇風機を上手に使うコツは風をできるだけ自然の風に近づけることだといえそうです。扇風機の風は、いってみれば一定の速度で直進してくる風の束といえます。ですから、この束をできるだけ散らせばよいわけです。つまり「首振り」にすることです。それも少し長く使う場合は「強」にしないよう気をつけましょう。とくに、乳幼児は環境の順応力が十分でないので注意が必要です。

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室
(東側入口よりお入り下さい)
時間：9時～12時
こまったことや心配ごとがありましたらお気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

- 7月25日 (金) 吉田 忠吉
黒田 市郎
- 8月5日 (火) 佐野 とし子
吉田 勝子
- 8月15日 (金) 佐藤 容子
牧野 稔
- 8月25日 (月) 大内 与志江
大和田

七月の健康



てらしいですね。頭痛、発熱、下痢、不眠などの症状があればりっぱな夏バテです。暑さのために自律神経の働きがうまくいかないの起きてくるようです。
さて、夏バテ予防の一原則は、1よく食べ、2よく眠ることです。消化がよく、たん白質、ビタミンなどの栄養のバランスがとれた食品を少しずつ食べるようにしましょう。規律正しい生活を心がけ、からだをゆつくり休める心がけが大切です。(保健課)

ワイドおしらせ

三十八年四月一日までに生まれた女子で、学歴は問わない。
 願書受付
 九月八日から九月二十日
 試験日
 第一次試験
 十月十九日(日) 福島市

警察官の募集

福島県警察本部では、昭和五十六年四月に採用する警察官および交通巡視員を募集しています。
 (警察官A・大学卒)
 受験資格
 昭和二十八年四月二日から昭和三十四年四月一日まで生まれた男子で、大学を卒業した者または五十六年三月までに卒業見込みの者
 願書受付
 七月二十八日～八月九日
 試験日
 昭和三十三年四月二日から昭和三十三年四月九日まで
 第一次試験
 十月十九日(日) 福島市

第一次試験

八月二十四日(日) 福島市
 (警察官B・高校卒程度)
 受験資格
 昭和二十八年四月二日から昭和三十一年四月一日まで生まれた男子で、高校卒程度以上の者
 願書受付
 九月八日～九月二十日
 試験日
 第一次試験
 十月十九日(日) 福島市

※申込み手続きやくわしいことは桑折警察署またはもよりの駐在所にお問い合わせください。

毎日奨学生を募集

毎日新聞社では、働きながら自分の力で進学できる毎日奨学生制度を設けております。
 この制度は、大学生、短大生、専門・各種学校生・予備校生にそれぞれ各コースの奨学生制度を適用し、必要な学費の貸与、返済不要

善意の窓

町社会福祉協議会へ
 ○大和田健一さん(藤田字北七)より五万円
 — 故藤吉さんのご遺志 —
 ○町商工会より「千葉たい子歌謡民謡ショー」招待券五百枚

戸籍の窓口

(6月受付分)
 出生おめでとうございます

父の氏名	子の名	部落
本間好実	省子	源山東
高橋喜代志	めぐみ	貝田中
高橋實	真理子	泉田明
高橋長俊	美朝	川光明
高渋谷和洋	知恵子	川内田
斎藤幹夫	江美子	貝源山北
松田富男	ひとみ	源大町北
後藤雄	恵子	源大町北
大槻富正	二子	町石母田西
高須信男	喜美栄	第第一
須田喜孝	美栄	源山東
佐藤政美	陽	
小野政美	陽	
高橋努	陽	

結婚おめでとうございます

氏名	部落(前住所)
七子	十寺館北
信節	山崎北
地野	富道北
藤山	宮徳北
多	山江北
多	島福

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	部落
策	71	前田
良	53	高城
寅	80	母田原
由	6	石田川
美	73	太山北
シ	92	山内
エ	59	内九
ト	92	内十
男	84	第川
代	79	第
右		
門		



編集日記

〇今年のカラツゆか、などといわれながら、七月に入ったとたん雨、雨、雨……。梅雨前線が日本列島に腰を据えて動きそうにもない。もうそろそろ梅雨も明けてよさそうなのだが……。

〇編集日記を書くころになると、ああ今月号もようやくできた、と思う。毎月ながらこの時ばかりはやはり嬉しい。が、印刷が仕上がってみると、完全に見たはずの文章に誤字・脱字が見つかり、シヨックが絶えない。とくに先月は、不行き届きから致命的なミスがあり、しかも、すでに各部落長さんに配達した後とあって目の前が真っ暗、すぐに回収やら訂正やらで部落長さんをはじめ、みなさんはいへんご迷惑をかけてしまった。この欄をお借りしておわびしたい。もとより、満足のいく広報紙とはいえないが、これを自戒とし、さらに精進していきたいと思う。



お待ちせしました

町民学校が開設

申し込みは公民館へ

ご好評をいただいております町民学校、次のとおり開校します。余暇を生かし、今の生活をより豊かなものにするために、ぜひご参加ください。

◆手話教室

—手話を通してろうあ者の理解を深めよう

講師 福島県通訳者、館坂修一
定員 三十名
期間 9月2日(火)～10月7日(火) 計六回
時間 午後7時30分～9時30分
会場 公民館第一会議室
開校日 9月2日(火)
持参品 筆記用具
経費 二百円

◆美容健康体操教室

—美容体操で整った脚線美を実現しよう

講師 美容体操指導者 永沢エツ

国見町公民館
電話 26766
4156

定員 三十名
期間 9月1日(月)～10月20日(月) 計七回
時間 午後1時30分～3時30分
会場 町民体育館
開校日 9月1日(月)
持参品 筆記用具、軽装、上ズック
経費 五百円

◆和・洋料理教室

—オープンを利用して、だれにでもできる和・洋料理

講師 シオン経営者 星 利尚
定員 三十名
期間 9月3日(水)～10月1日(水) 計五回
時間 午後2時～4時
会場 公民館料理実習室
開校日 9月3日(水)
持参品 筆記用具、エプロン
材料費 二千五百円

◆押絵教室

押絵であなたのお部屋を美しく飾る

講師 梁川町、全日本人形師範会委員 阿部喜美江
定員 二十名
期間 9月6日(土)～9月27日(土) 計四回
時間 午後1時30分～3時30分
会場 公民館老人子ども室
開校日 9月6日(土)
持参品 筆記用具、裁ばさみ、小ばさみ、メウチ、手ふき用おしぼり、ものさし
材料費 四千元
申し込みは八月二十日まで公民館へお願いします。定員になり次第締切らせていただきます。

新着図書案内

- 土の器 阪田寛夫
- 鐘よ鳴り響け 古閑裕而
- 狂気—ピアノ殺人事件—上前淳一郎
- 葎の季節 平岩弓枝
- さそりたち 井上ひさし
- 香具師の旅 田中小美昌
- わたしの写真館 川本香都子
- 密室の母と子 立木香太郎
- 侍 遠藤周作
- 燐路 立原正秋
- 空色のアルバム 杉本苑子
- 私の万葉集 角田房子
- 風の鳴る国境 森村誠一
- 太陽黒点 岩本薫
- 囲碁を世界に 新田次郎
- 密航船水安丸
- 13の密室 渡辺剣次
- 無常ソング 田辺聖子
- 日々の美女
- 妾宅・本宅
- 雲のコンチエルト 生田直親
- フラハからの道化たち 高柳芳夫
- 死ぬ瞬間の対話 E. キューブラー
- 花喰鳥文様展覧 森豊
- 樹下美人図考
- おどろ唐草幻想
- 古代人と聖獣
- シルクロードの詩
- 聖なる円光
- 壁面の美女
- 仮面の祈り
- 樹木・生命・信仰
- 龍
- シルクロードの旅人

あつがし俳句会

昭和五十五年六月二十八日

- * 鳩鳩のよく啼く日なり寺の杜 奥山 甲二
- * 玄園の鏡にうつる濃あじさい 斎藤賢鶴楼
- * 到来の新茶静かに老一人 熊田 一陽
- * 風鈴や女あるじの若くけに 野田 勝衛
- * あじさいの大花房の重たげに 藤田 たかし
- * 脈をさる白衣のルージュ夏来たる 八巻 正雄
- * 田の水のあるる音や雲の峰 佐久間山月
- * 梅雨寒の孤独を癒すウイスキー 加藤 庵仏
- * 夕陽居妻の血圧気づこうて 須田 泰山
- * 五月雨のつりて人の恋しき夜 奥山 雨山
- * 月見草言葉少き川原宿 小野寺萬水
- * 雲の上に雲より白き五月富士 阿部 亨司
- * 新緑や木々のもみ合ふ風の山 阿部しげを
- * 菰深き土湯七曲り夏あざみ 佐藤 国樞
- * 名も知らぬ花の匂ふや夏の山 高橋 涌水
- * 清水通く鎮守の森のひそかに 渋谷 良一
- * 藪の中糸吐く音の幽かたり 赤間はる子
- * 書くこともままならぬ手と桜桃忌 羽賀 えい
- * 栗の花幸せの日は父母懐か 角田 昭子
- * 雪の下迷い心に揺るかな 蕪賀 秋子
- * 野良猫に見つめられ居て植田かな 鮎沢 きよ
- * 病む父に遠都公のしきりなり 鈴木 幸子
- * つゆ行の気になるブルー聞きかな 高橋 仙子
- * 吟行の一人が口笛初夏の山 鈴木 高枝
- * 油虫ドラマ佳境に入るとき 森田 栄子